

令和5年度第1回 千葉市自殺対策連絡協議会

令和5年5月25日（木）10時～12時
新庁舎XL会議室201
（ハイブリッド開催）

（２） 全国及び千葉市の 自殺の状況について

国の自殺総合対策大綱の 見直しについて

自殺総合対策大綱について

- 平成18年に成立した**自殺対策基本法**に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として定めるもの。
- 平成19年に策定された後、平成24年と平成29年に見直しが行われ、**令和4年10月14日**に3回目の見直しが行われた。
- 自殺対策基本法において、自殺総合対策大綱及び地域の実情を勘案して市町村自殺対策計画を定めるものとされている。
- このため、今回の自殺総合対策大綱の見直し内容を、**千葉県自殺対策計画に反映させる必要がある。**

「自殺総合対策大綱」の概要

※赤字は旧大綱からの主な変更箇所

第1 自殺総合対策の基本理念

誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す

第2 自殺の現状と自殺総合対策における基本認識

- ✓ 自殺は、その多くが追い込まれた末の死である
- ✓ 年間自殺者数は減少傾向にあるが、非常事態はいまだ続いている
- ✓ **新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた対策の推進(新)**
 - ・自殺への影響について情報収集・分析
 - ・ICT活用を推進
 - ・女性、無業者、非正規雇用労働者、ひとり親、フリーランス、児童生徒への影響も踏まえた対策
- ✓ 地域レベルの実践的な取組をPDCAサイクルを通じて推進する

第3 自殺総合対策の基本方針

1. 生きることの包括的な支援として推進する
 - ・自殺対策は、SDGsの達成に向けた政策としての意義も持つ旨を明確化
2. 関連施策との有機的な連携を強化して総合的に取り組む
 - ・こども家庭庁(令和5年4月に設立予定)、孤独・孤立対策等との連携
3. 対応の段階に応じてレベルごとの対策を効果的に連動させる
4. 実践と啓発を両輪として推進する
5. 国、地方公共団体、関係団体、民間団体、企業及び国民の役割を明確化し、その連携・協働を推進する
 - ・地域の支援機関のネットワーク化を推進し必要な情報を共有する地域プラットフォームづくりを支援
6. **自殺者等の名誉及び生活の平穩に配慮する(新)**
 - ・自殺者、自殺未遂者、親族等への配慮

第4 自殺総合対策における当面の重点施策

→重点施策の拡充内容については、P.3・4

1. 地域レベルの実践的な取組への支援を強化する
2. 国民一人ひとりの気付きと見守りを促す
3. 自殺総合対策の推進に資する調査研究等を推進する
4. 自殺対策に関わる人材の確保、養成及び資質の向上を図る
5. 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進する
6. 適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする
7. 社会全体の自殺リスクを低下させる
8. 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ
9. 遺された人への支援を充実する
10. 民間団体との連携を強化する
11. 子ども・若者の自殺対策を更に推進する
12. 勤務問題による自殺対策を更に推進する
13. **女性の自殺対策を更に推進する(新)**

第5 自殺対策の数値目標

- ✓ 誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指すため、当面は先進諸国の現在の水準まで減少させることを目指し、令和8年までに、自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)を平成27年と比べて30%以上減少させることとする。 ※旧大綱の数値目標を継続(平成27年:18.5 ⇒ 令和8年:13.0以下) ※令和2年:16.4

第6 推進体制等

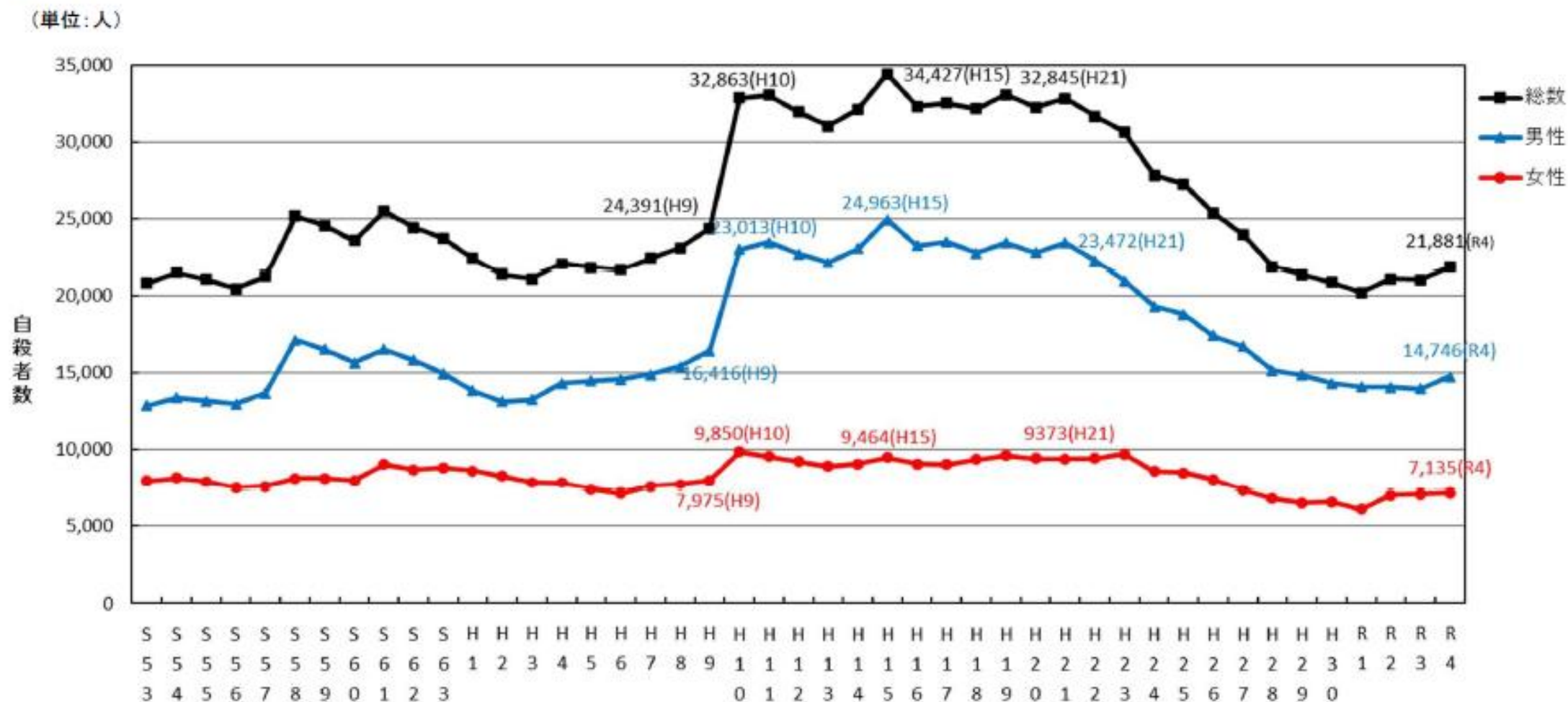
1. 国における推進体制
 - ・指定調査研究等法人(いのちを支える自殺対策推進センター)が、エビデンスに基づく政策支援、地域が実情に応じて取り組むための人材育成等を推進
2. 地域における計画的な自殺対策の推進
 - ・地域自殺対策計画の策定・見直し等への支援
3. 施策の評価及び管理
4. 大綱の見直し
 - ・社会経済情勢の変化、自殺をめぐる諸情勢の変化等を踏まえ、おおむね5年を目途に見直しを行う

全国及び千葉市の自殺の状況 (統計等) について

自殺者数の年次推移

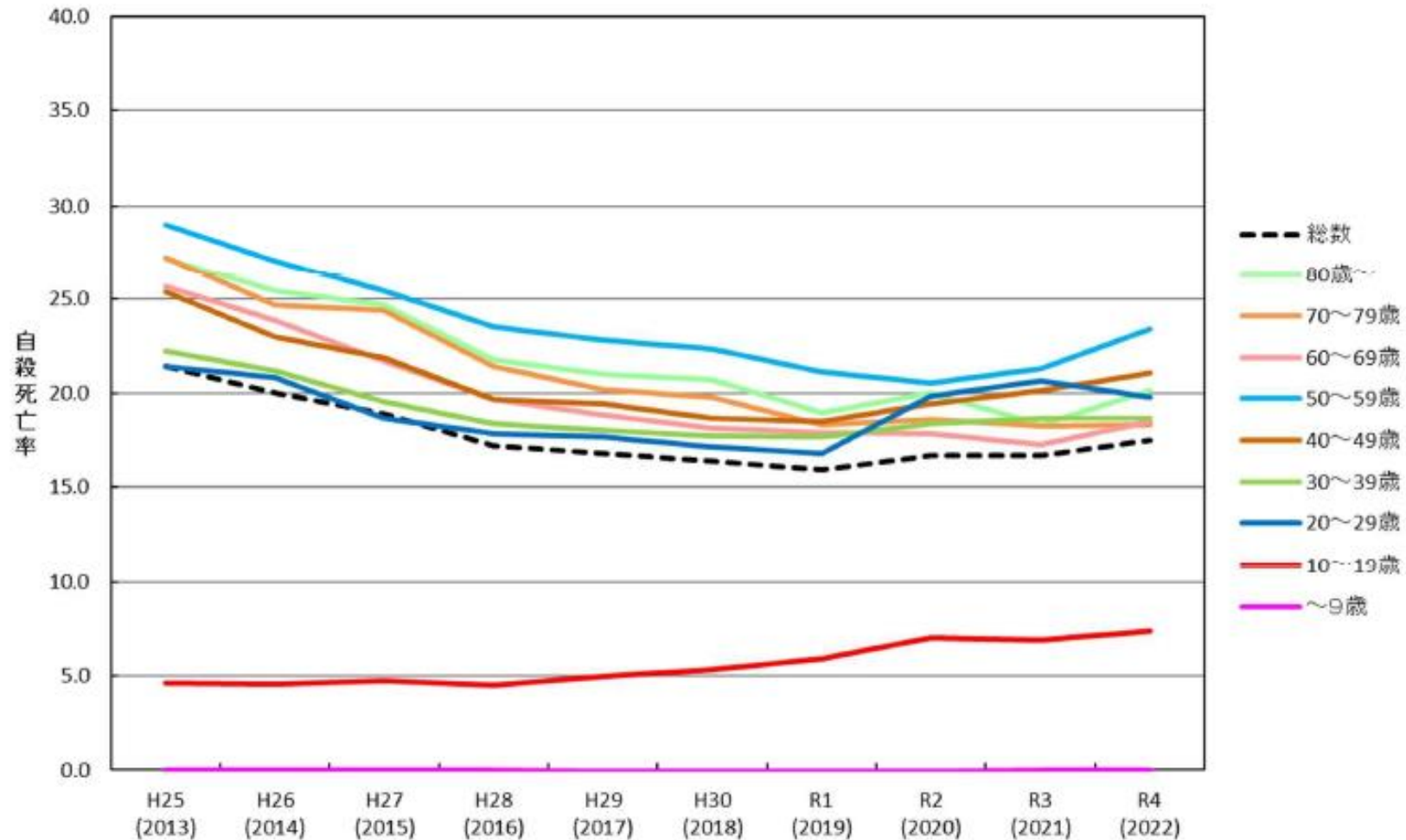
○令和4年の自殺者数は21,881人で、前年に比べ874人(4.2%)増。

○男女別にみると、男性は13年ぶりの増加、女性は3年連続の増加となっている。また、男性の自殺者数は、女性の約2.1倍となっている。



年齢階級別自殺死亡率の年次推移

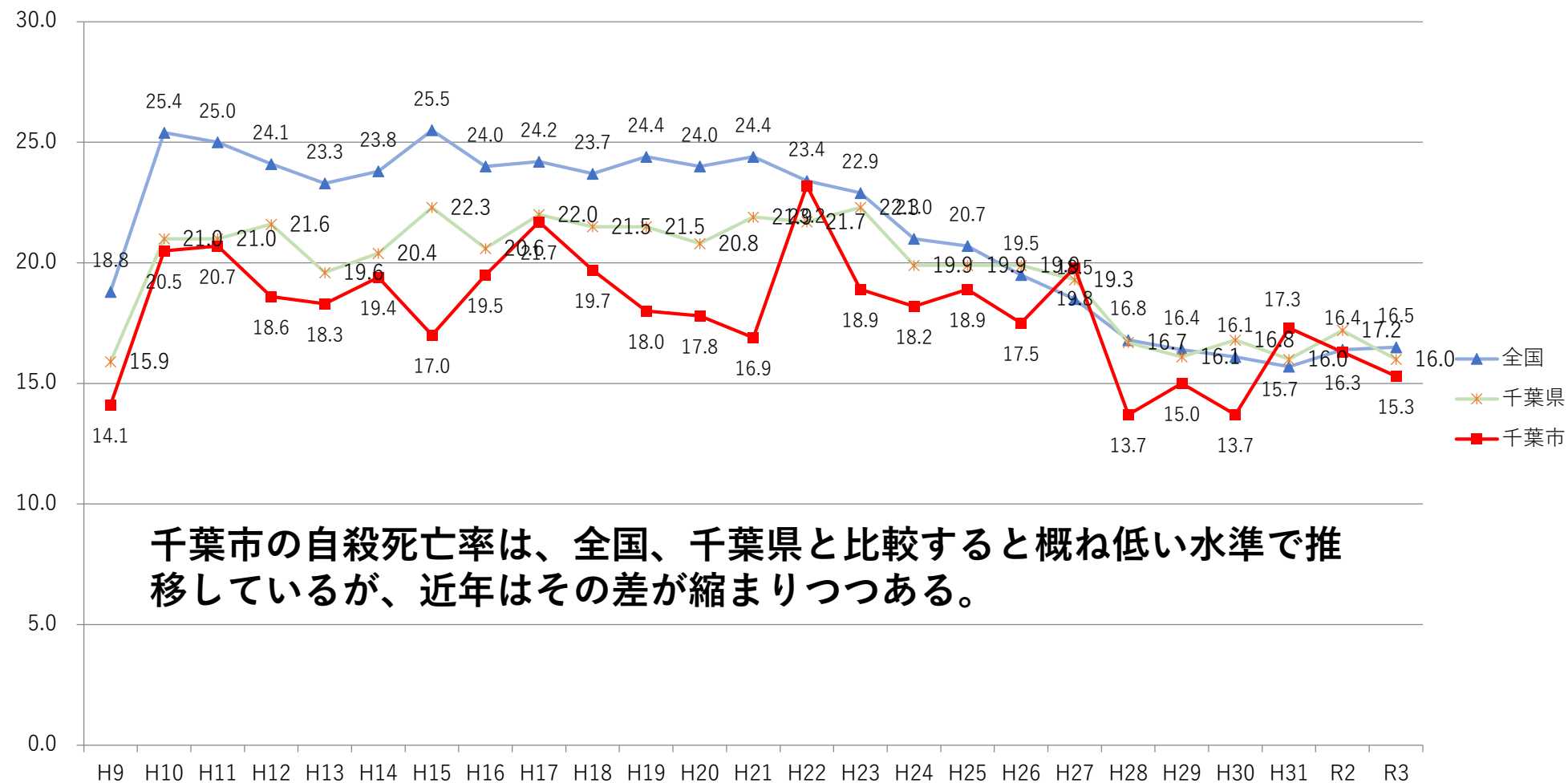
- 50代が通年で一番高くなっている。40代もR1から毎年上昇している。
- 10代がH29頃から上昇傾向。20代もR2、R3に急上昇したがR4で下降した。



自殺死亡率の推移（全国、千葉県、千葉市）

※自殺死亡率：人口10万人当たりの自殺者数

資料：人口動態統計



千葉市の自殺死亡率は、全国、千葉県と比較すると概ね低い水準で推移しているが、近年はその差が縮まりつつある。

自殺死亡率の政令市比較

※自殺死亡率：人口10万人当たりの自殺者数

	平成29年		平成30年		平成31年		令和2年		令和3年	
	自治体	自殺死亡率	自治体	自殺死亡率	自治体	自殺死亡率	自治体	自殺死亡率	自治体	自殺死亡率
1	大阪市	19.8	大阪市	18.7	千葉市	17.3	大阪市	20.3	大阪市	19.3
2	相模原市	17.2	堺市	17.2	静岡市	17.1	相模原市	18.1	相模原市	17.2
3	北九州市	16.9	北九州市	17.1	大阪市	17.1	仙台市	17.9	仙台市	17.1
4	札幌市	16.3	新潟市	15.6	札幌市	16.3	堺市	17.6	福岡市	17.1
5	神戸市	16.1	福岡市	15.6	新潟市	15.6	千葉市	16.3	札幌市	16.7
6	福岡市	15.9	札幌市	15.2	神戸市	15.4	福岡市	16.3	堺市	16.3
7	堺市	15.7	神戸市	14.7	堺市	14.9	神戸市	16.1	広島市	16.1
8	静岡市	15.6	川崎市	14.1	相模原市	14.1	熊本市	16.1	神戸市	16.1
9	川崎市	15.4	仙台市	14.1	浜松市	14.1	名古屋市	16.1	岡山市	15.7
10	仙台市	15.2	静岡市	13.8	広島市	13.8	札幌市	15.9	北九州市	15.7
11	名古屋市	15.1	千葉市	13.7	福岡市	13.8	北九州市	15.9	新潟市	15.6
12	千葉市	15.1	京都市	13.7	北九州市	13.7	川崎市	15.3	千葉市	15.3
13	新潟市	14.9	浜松市	13.6	岡山市	13.2	横浜市	15.1	横浜市	15.2
14	広島市	14.2	さいたま市	13.3	横浜市	13.1	さいたま市	14.8	名古屋市	14.6
15	京都市	13.8	相模原市	13.1	名古屋市	13.1	新潟市	14.8	京都市	14.4
16	さいたま市	13.7	横浜市	12.9	さいたま市	13.1	静岡市	14.5	さいたま市	14.3
17	横浜市	13.3	名古屋市	12.8	川崎市	13.1	広島市	14.1	静岡市	13.6
18	浜松市	13.1	広島市	12.2	熊本市	13.1	浜松市	13.7	浜松市	13.3
19	熊本市	12.7	熊本市	11.5	仙台市	12.7	京都市	13.4	川崎市	13.2
20	岡山市	11.9	岡山市	11.2	京都市	12.2	岡山市	12.8	熊本市	12.6

全国	16.4	全国	16.1	全国	15.7	全国	16.4	全国	16.5
千葉県	16.1	千葉県	16.8	千葉県	16.1	千葉県	17.2	千葉県	16.1

性別毎の自殺者割合の推移（全国、千葉市）

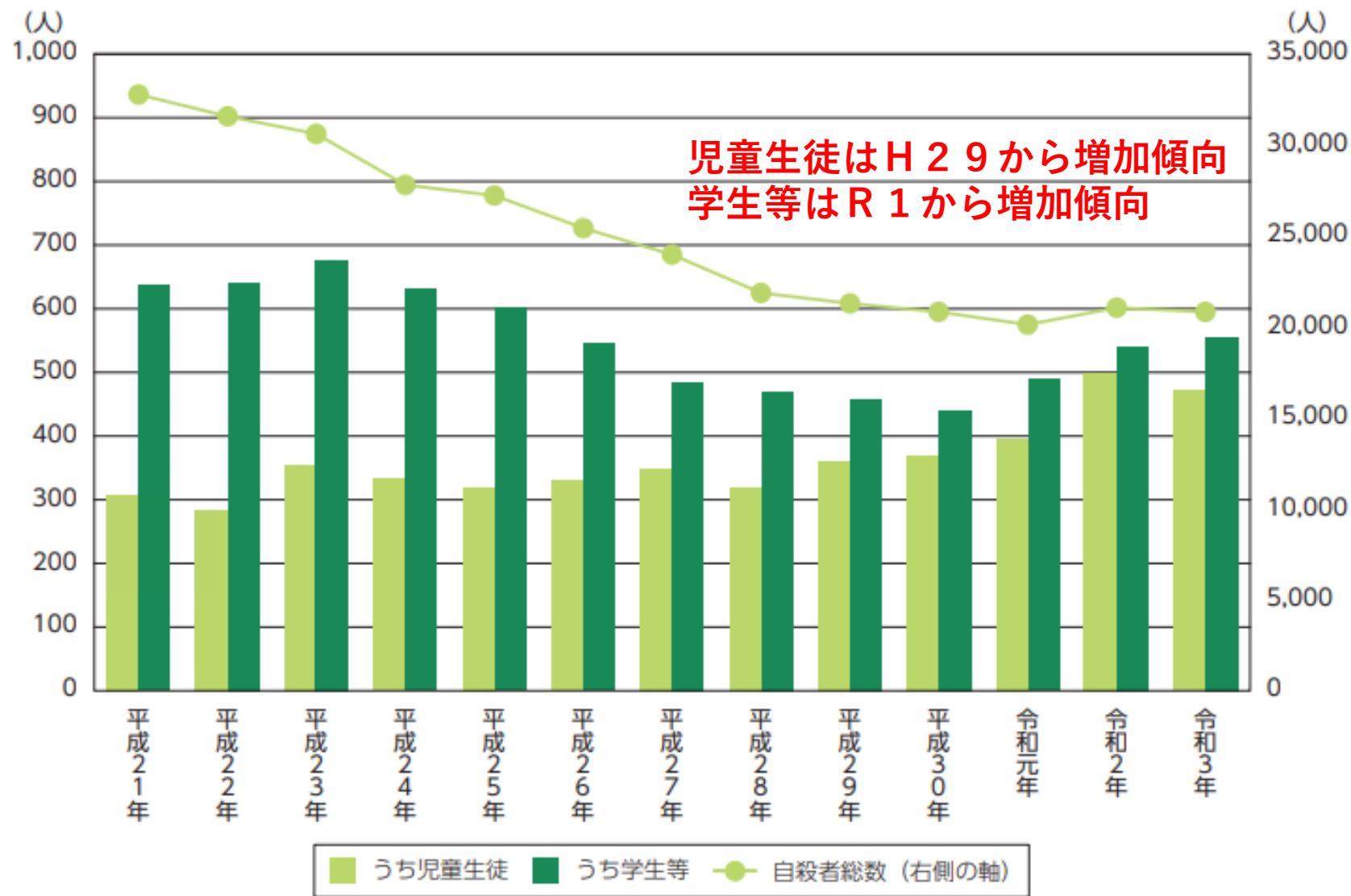
資料：千葉市地域自殺実態プロフィール

※H24～28,H29～R3のそれぞれ**5年間**の合計自殺者数で割合を算出

		千葉市割合	全国割合
H24～ H28	男性	67.4%	68.9%
	女性	32.6%	31.1%
H29～ R3	男性	3%DOWN 64.4%	68.1%
	女性	3%UP 35.6%	31.9%

過去5年合計で比較すると、全国割合は大差ないが、千葉市割合は、女性が占める割合が3%大きくなっている。

第2-3-5図 児童生徒及び学生等の自殺者数の推移（男女計）



児童生徒：小・中学生、高校生 学生等：大学生、専修学校生等



去年自殺した児童生徒の数512人と最多見込み 文科省が対応通知

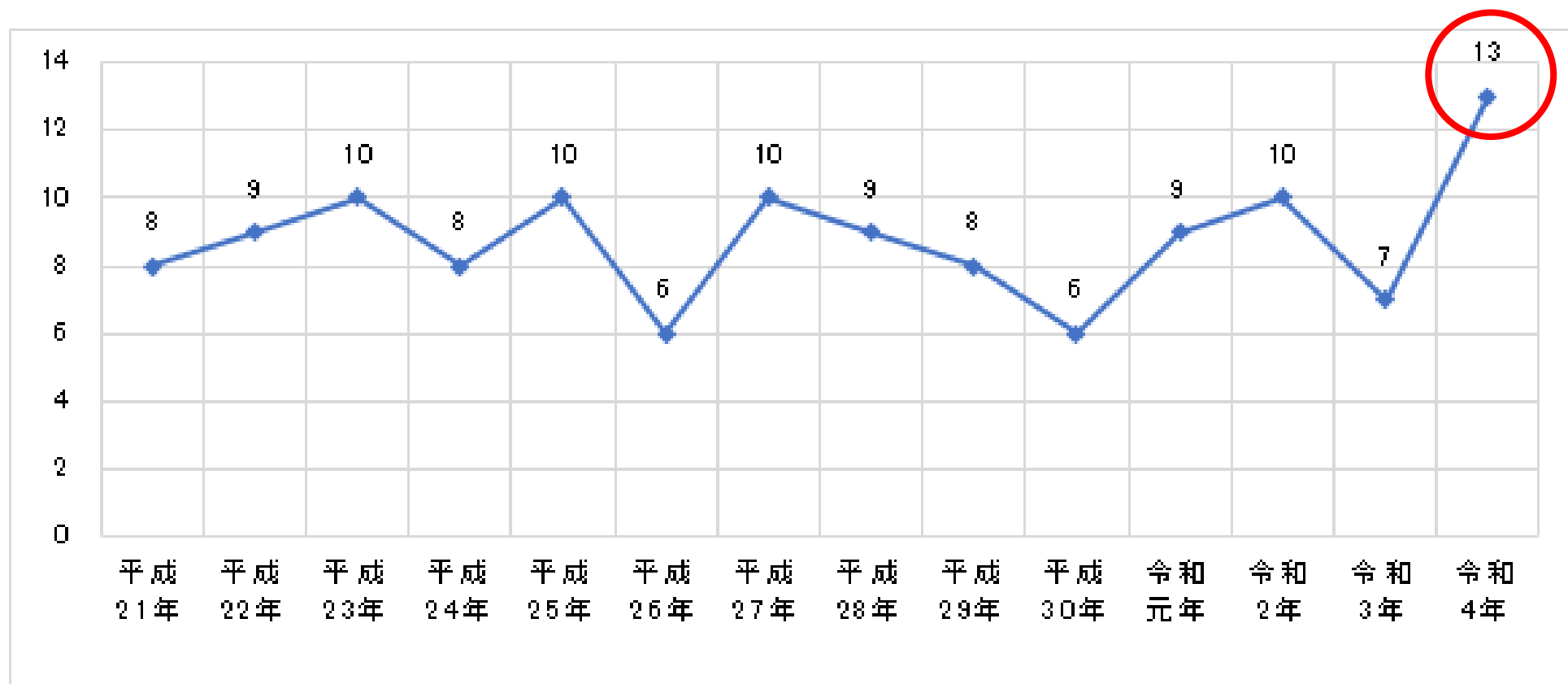
2023年3月1日 4時51分

R 4 暫定値。3/14に確定値が514人と公表された。

去年1年間で自殺した小中学生や高校生は暫定値で512人となり、初めて500人を超えて過去最多になる見通しです。文部科学省は全国の教育委員会に対し、悩みや困難を抱える子どもたちにいち早く対応するよう通知しました。

NHK NEWS WEB

【千葉市】 児童生徒及び学生等の自殺者数の推移



2022年度 第11回 WEBアンケート実施結果について

調査期間：令和5年2月1日（水）午前9時 ～ 2月10日（金）午後 5時

回答者数	1,512 人
------	---------

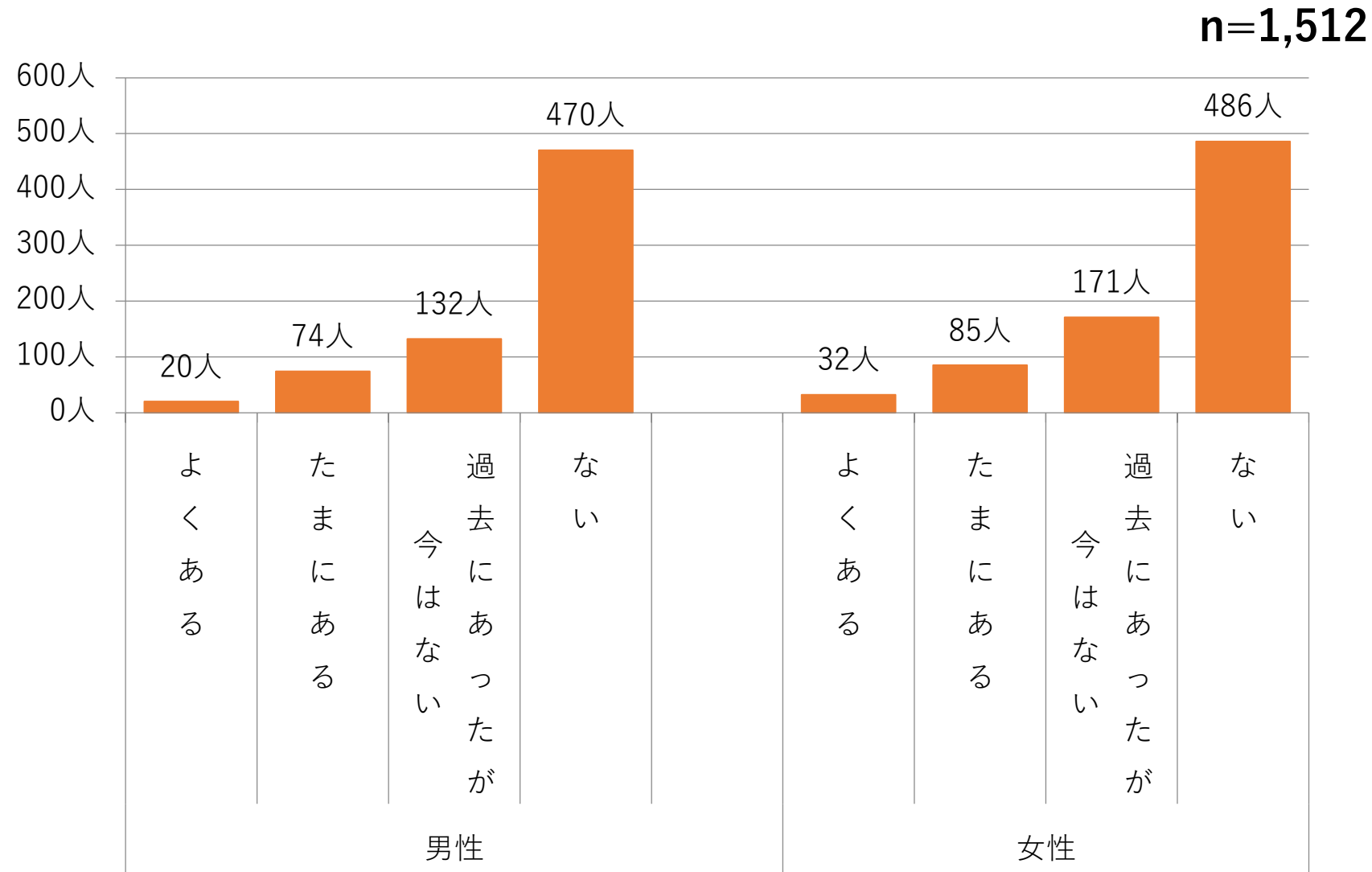
性 別		
男性	696	46.0%
女性	774	51.2%
その他	9	0.6%
未回答	33	2.2%

職 業		
会社員	476	31.5%
自営・自由業	73	4.8%
パート・アルバイト	271	17.9%
公務員	72	4.8%
学生	53	3.5%
専業主婦・主夫	266	17.6%
無職	270	17.9%
その他	31	2.1%

年 代		
10代以下	35	2.3%
20代	49	3.2%
30代	174	11.5%
40代	298	19.7%
50代	415	27.4%
60代	294	19.4%
70代以上	247	16.3%

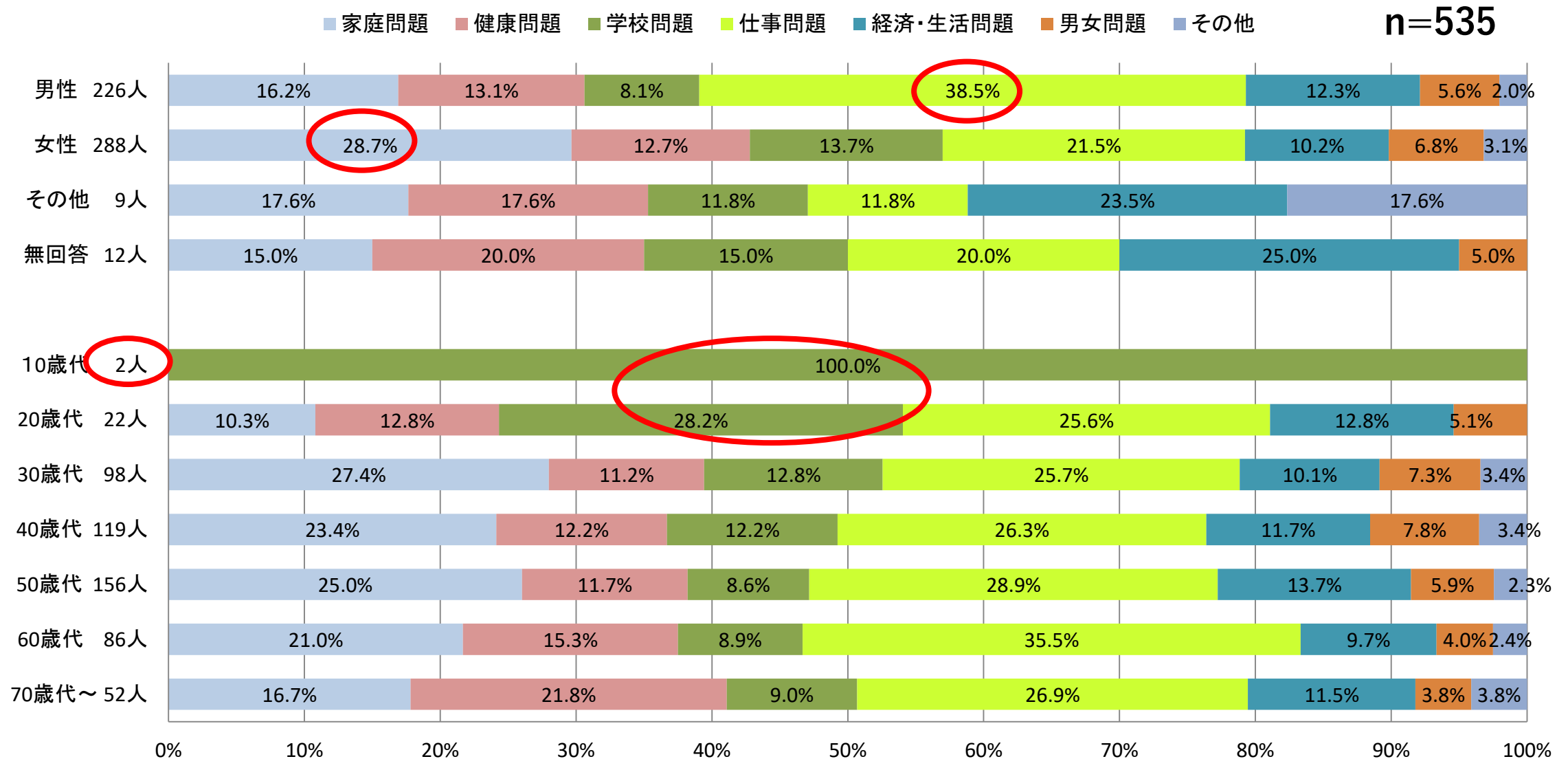
居 住 区		
中央区	262	17.3%
花見川区	228	15.1%
稲毛区	263	17.4%
若葉区	124	8.2%
緑区	187	12.4%
美浜区	387	25.6%
市内在勤・在学	61	4.0%

Q1. これまでに「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じたことがありますか。

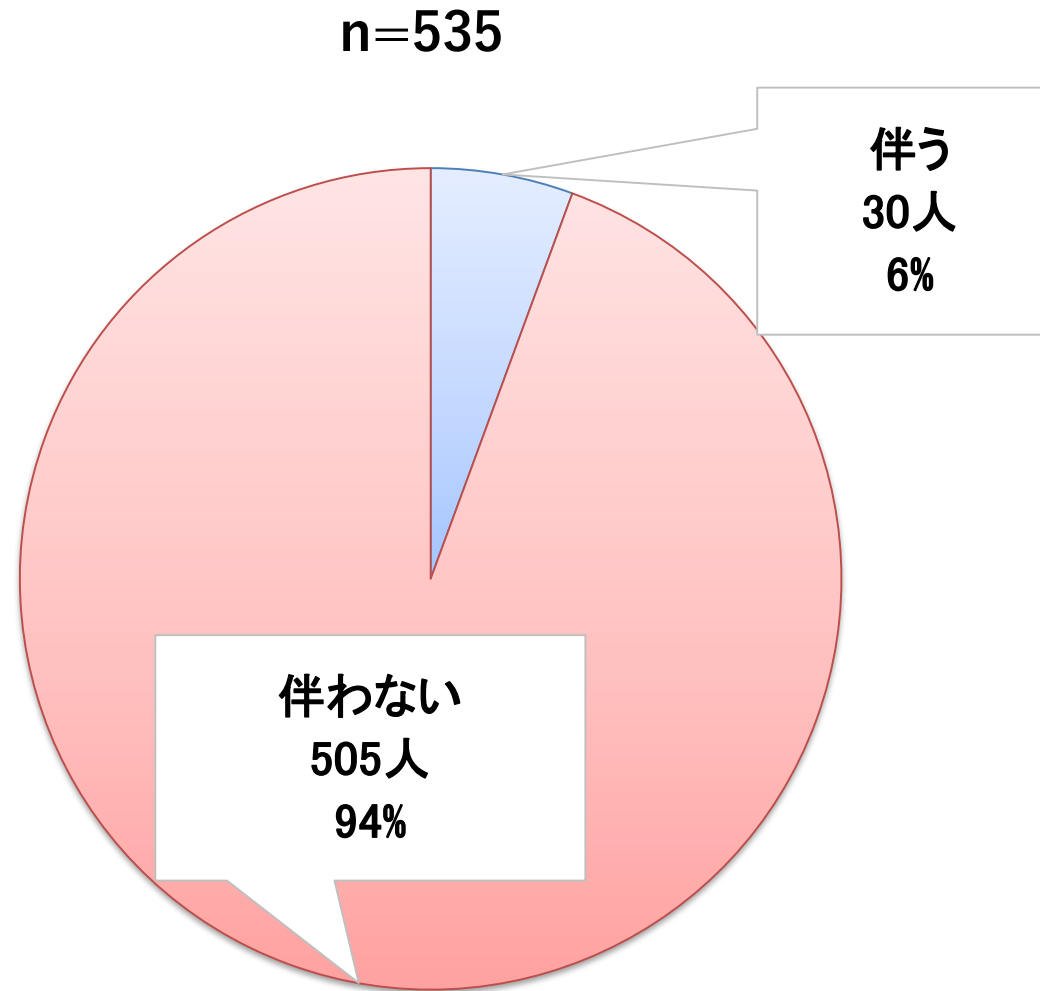


男性226人、
女性288人、
その他9人、
無回答12人
計535人が
「ある」と回答

Q2. その原因は何ですか。(複数回答可)

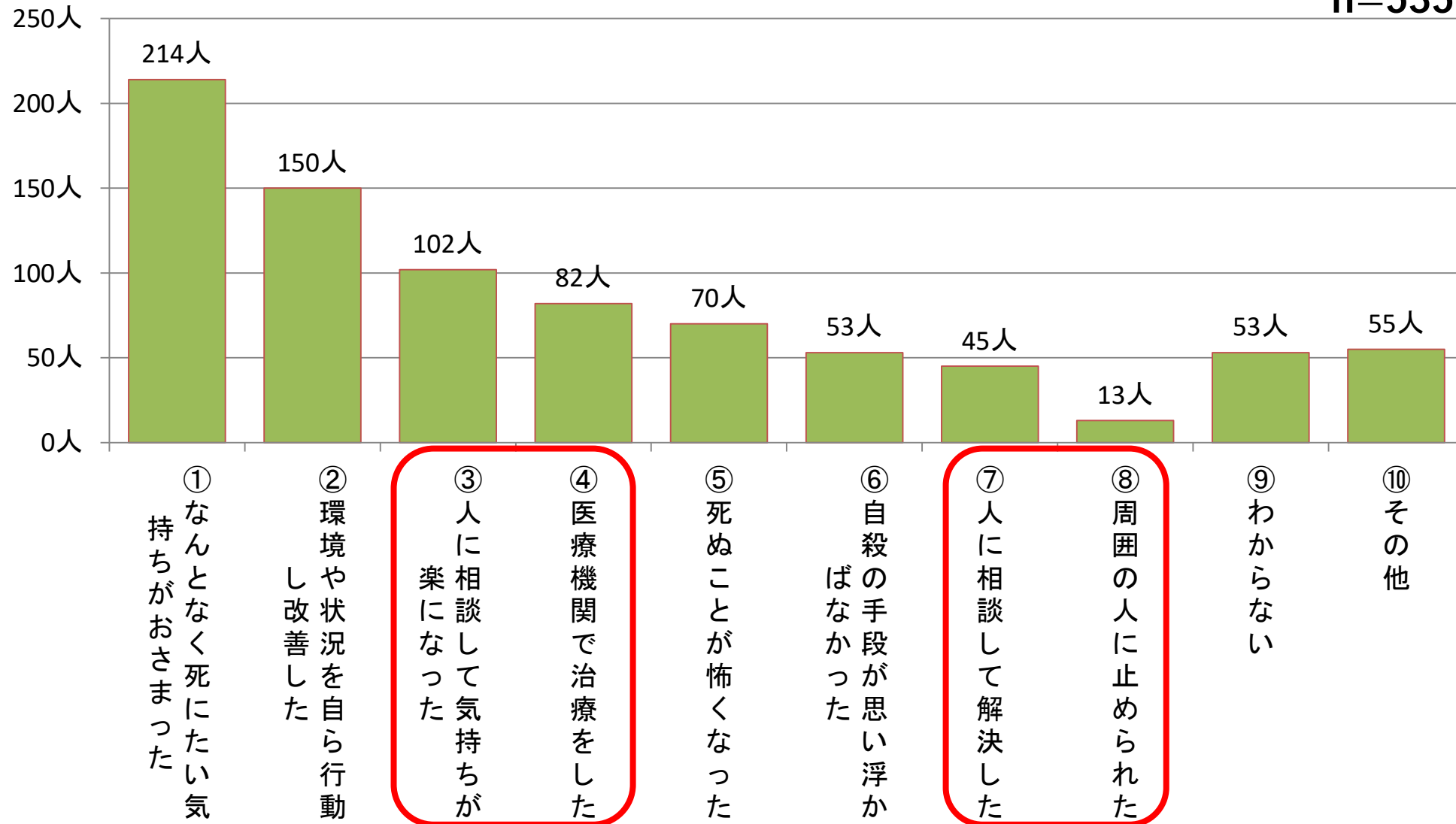


Q 3 Q 1 の原因は新型コロナウイルス感染症に伴うものですか。



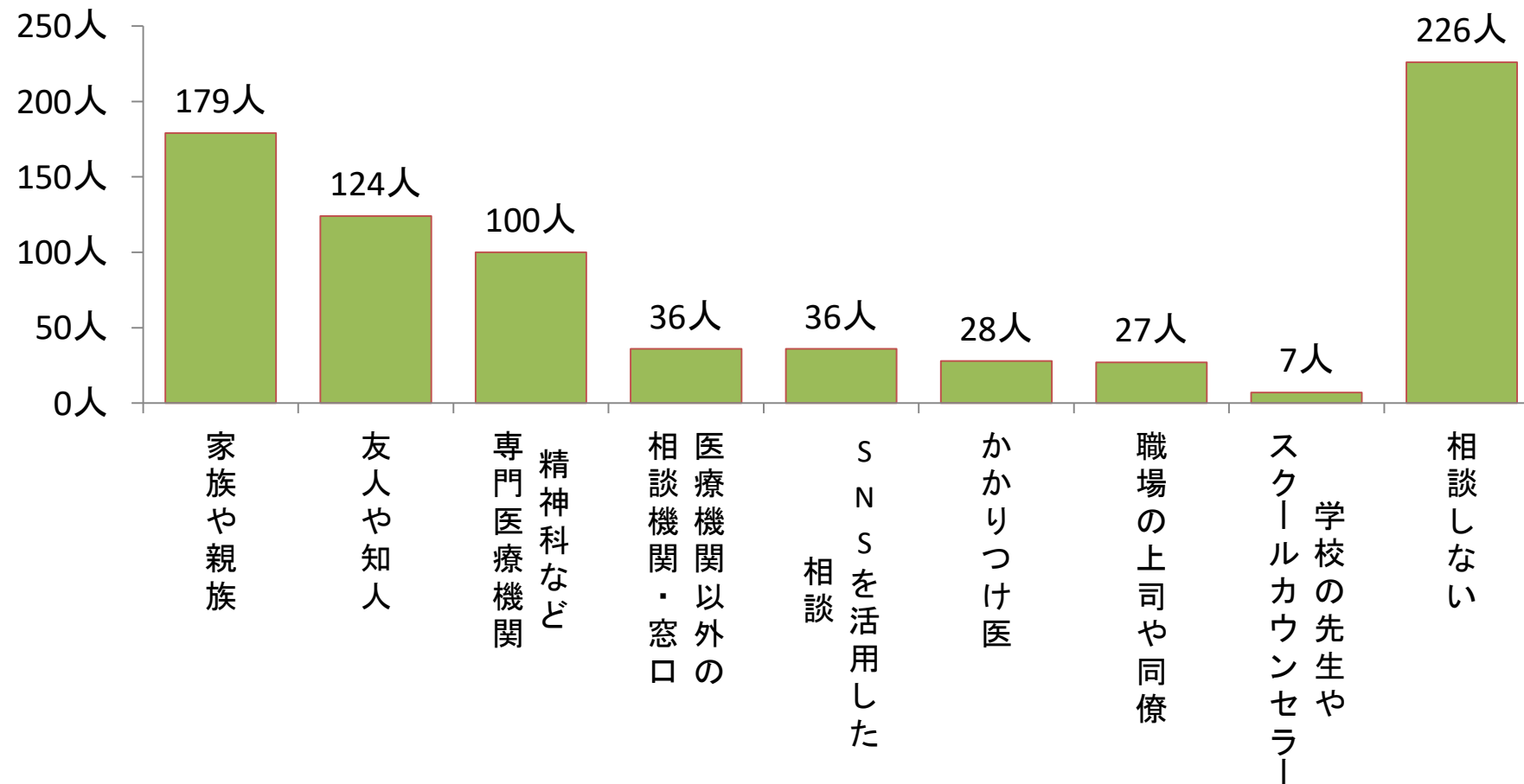
Q4 「死にたい」と思うほどのストレスを感じたとき、自殺を思いとどまった理由をお聞かせください。（複数回答可）

n=535



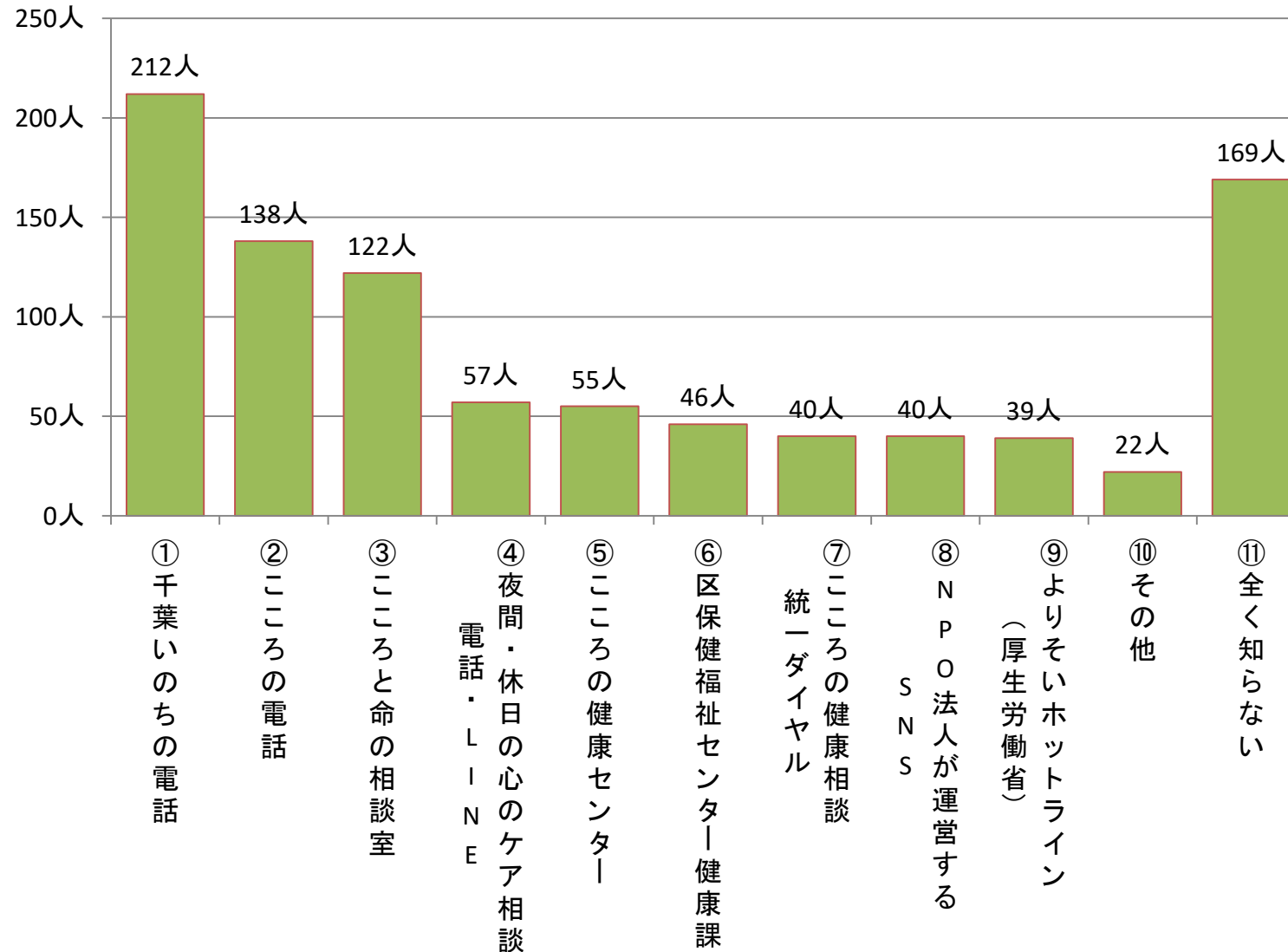
Q5 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じたとき、誰に（どこに）相談しますか。（複数回答可）

n=535



Q6. 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じた時に相談ができる窓口のうち、知っているものはどれですか。(複数回答可)

n=535



Q 7. 自殺対策における「ゲートキーパー※」という言葉や役割について聞いたことがありますか

n=1,512

